

事前評価調書

I 事業概要																																	
事業名	道路事業（道路改良事業）																																
地区名	一般県道東海緑線																																
事業箇所	愛知県大府市長草町地内																																
事業のあらまし	<p>一般県道東海緑線は、愛知県東海市大田町から名古屋市緑区に至る延長約 7.8km の路線であり、知多半島の北部地域を東西に結ぶ重要な路線である。</p> <p>当該事業区間の周辺では、特に通勤・通学時において渋滞が発生しており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。また、現道は道路幅員が狭く、通過交通が多いため、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、知多半島の北部地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、歩行者の安全性を確保するため、一般県道東海緑線の現道拡幅整備を実施するものである。</p>																																
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																
事業費	事業費	内訳																															
	3.0 億円	■工事費 1.5 億円、■用補費 1.4 億円、■その他 0.1 億円																															
事業期間	採択予定年度	平成 29 年度	着工予定年度	平成 29 年度	完成予定年度	平成 32 年度																											
事業内容	現道拡幅整備（延長：L=0.4km、車線数：2 車線、幅員：W=16m）																																
II 評価																																	
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <p>交通量は 8,277 台/12h、混雑度は 1.12 となっており、特に通勤・通学時において渋滞している状況である。（H22 道路交通センサス結果）</p> <p>(2) 交通安全対策の強化（歩道設置）</p> <p>現道は道路幅員が狭く、通過交通が多いため、歩行者の安全性が確保されていない。</p>																															
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な交通の確保や安全性の向上のため、事業実施の必要がある。</p>																														
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th colspan="2"></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">3.0</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	H31	H32	工種区分	調査・設計	←→				用地補償	←→	←→			工事			←→	←→	事業費（億円）		3.0			
			H29	H30	H31	H32																											
	工種区分	調査・設計	←→																														
用地補償		←→	←→																														
工事				←→	←→																												
事業費（億円）		3.0																															
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備の要望を受けている。 ・地元住民に対し事業説明会を開催し、合意形成を図っている。 																																
判定	A	<p>A：事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B：事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。</p>																															

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況</p>	